

第18号

琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 琴清苑
編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1099
TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-mail kinseien@futabakai.or.jp



奥多摩町消防少年団の慰問で花を頂く久保井ツル子様



新年の挨拶

琴清苑事務長 奥平周二

平成十六年の新春にあたり関係皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお喜びを申し上げます。

平成十二年四月の介護保険制度の導入より三年余りが経過したわけですが、この間、準備期間の非常に少ない中で、の制度転換だったこともあり、ご家族の皆様方にもご迷惑をおかけしたことも少なくなかったのではないかと、あらためて反省しているところでございます。

当法人におきましては、寿楽荘が昭和四十二年二月開設（都内九番目）、琴清苑が昭和五十二年七月開設（都内四十四番目）と、東京都内の特別養護老人ホーム数三三〇施設を数える現在、今まで以上に、これまでに培ったノウハウを活用した先駆的立場での経営展開を図っていかなくてはならないと考えています。

利用者のプライバシーの確保、第三者機関による施設サービスの評価、情報開示、苦情解決への取り組み、危機管理等リスクマネジメントへの対応と課題は山積していますが、これらを町内の高齢者福祉対策の向上・町内の人材の育成等、両施設の置かれた立地条件も考慮した上での展開を推し進めていきたいと考えています。

関係皆様方のご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



全館清掃

施設では6月と11月の年二回、業者に委託して全館を清掃します。当日は利用者にもご協力頂き、全室ベットの移動しての大掃除となります。また、掃除終了後には害虫駆除の目的で殺虫剤の散布を行います。施設は築26年と古くなり、また、清潔な環境を提供出来ればと思います。



まずは掃除機掛けから
(佐々木相談員)



業者による機械での清掃



清掃の終わった居室



殺虫剤の散布



防災訓練

施設では毎月一回、防災訓練を行なっています。利用者の方の大切な生命を守るため、職員・利用者が皆真剣に取り組み、毎月色々な内容の訓練を実施しています。



防災訓練の様子
(車椅子で避難の荒井イト様)



防災訓練の様子
(避難するのむと苦労です 干場富男様)



利用者家族より一言

早いもので母、トシが琴清苑に入所させていたでいて二年近くになります。奥多摩の緑に囲まれた爽やかな環境の中、介護職員の方々のいつも笑顔でお世話している姿に、感謝の気持ちでいっぱいです。家で一緒に過ごせなくても、やさしい皆さんに囲まれて、穏やかな表情になった母の顔、それを見に来るのが私の楽しみであり、又きれいな空気を吸って、ストレスの解消にもなっているかのようです。これからも数々のご面倒をおかけすると思いますが、どうかよろしくお願ひ致します。

吉田すみ子



面会に来た吉田トシ様のご家族

運動会

介護保険になり、大幅な業務の見直しの中、例年では屋外で広々と行われていたが、昨年より一階のハビリ室と食堂を利用して館内での運動会となりました。

年々、運動会に参加できる方が減少、人数的には寂しさを感ずりましたが、日頃、集まり、身体を動かす機会のない現実の中、身体を動かす事により、思いもよらない静かな人が職員顔負けの位、元気に参加、声援を送る姿にお腹を抱え、笑う場面が端々に見られ、普段、食欲のない方も昼食のお弁当を残さず、きれいに食べられ、無事に楽しめ、終わる事ができたのだと思えます。



吉田テツノ様
赤組の優勝にてカップの贈呈



廣瀬源治様
黒ひげゲームにて



菅野トシエ様
赤組の応援にも熱が入ります



比留間ハナ様
得意のダービーゲームにて



散歩



上段左から、近藤介護職員・岡部邦男様・藤田セキ様
見玉吉太郎様・原島介護職員
下段左から、野田富士也様・佐々木栄子様



左から、池谷介護職員・古屋照子様
山本ソノ様・浅見ムラ様



10月26日久しぶりのお天気に恵まれ利用者さんと職員で苑外に散歩に出かけました。紅葉にはまだ早かったのですが、奥多摩の秋風を感じながら散歩を楽しみました。



障子張りの様子

南水川自治会 障子張り ボランティア



9月27日に奥多摩消防少年団（14名）の皆さんが施設を訪問されました。

奥多摩消防少年団の子供達11名と付添いの方3名が、手作りのティッシュケースと鉢植えのきれいな花を持って来苑されました。二階・三階と利用者全員の居室を回り、声かけをしたり一緒に写真に納まったりと短い時間で写真が納まったりと短い時間でしたが、楽しい一時を過ごす事ができました。

奥多摩 消防少年団訪問

10月26日（日）今年も南水川自治会のボランティアさんの力で、障子張りが行なわれました。参加者には、商店街の方々も多く休日の忙しい中を足を運んで頂き、ほんとうにありがとうございます。お蔭様で全居室がきれいになりました。お蔭様で全居室がきれいになりました。お蔭様で全居室がきれいになりました。お蔭様で全居室がきれいになりました。

ドクター中野の星のおはなし No.11

南極老人星をみる

真夏に輝いた火星は、いつの間にか西の地平線下に送られ地球から遠ざかった。次の接近は2005年10月となる。寒気のなか、おなじみの冬の星座が日暮れから昇り始め。その中で全天で一番明るい星シリウスは、エジプトで古代ナイルの洪水を予知したことは前に記した。

シリウスについて明るさが2番目の星、名をカノプスという星のおはなしをしてみる、この星は中国で昔から「南極老人星」「老人星」「寿星」とよばれ、一目でも見た人は健康と長寿にあやかるとされている。さてこの星が何処に何時見えるのかといえば、シリウスの遙か南の地平線近く姿を現す。うっかりすると見つけにくいこともある。もともと白色の1等星だが地平に近い為大気減光のため、暗く赤味をおびている。見える機会が天候等で少ないことなどから、見えた人にとっては幸せだとされた、見えれば吉兆である。中国では文献は甚だ多い。李白の詩に高所より地平を見おろし「…下に見る南極老人…」と記された。また史記、天官書に「狼（シリウス）の比地（近くに）に大星あり 南極老人という。現うれば治安く、見えざれば兵起る…」とある。

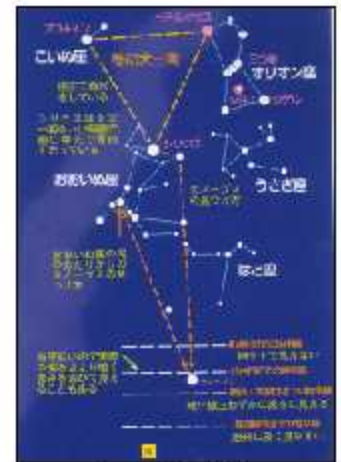
日本ではこの星が京都で見え、瑞兆として次の年、西暦901年昌泰の年号を「延喜」と改めた。日本の陰陽は中国直輸入で寮の記録に「老人星の」名が見られる。また和漢三方図絵に「この星、人民の寿星をつかさどる」と記されている。

関東地方でこの星が真南にやってくるのは、1月下旬22時頃、2月上旬21時頃、下旬20時頃である、闇をたよりに探すのもよい。こんなに見えないのは日本、朝鮮、中国大陸の北部だが、日本では北に行くほど見にくくなる。東北地方では中部から北では地平線上で見えることはない。また、逆に南へ進むほどたやすく見えてくる、九州あたりでは見つけやすい、いつも空高く明るく見える。

私を含め読者の皆さんが直接この星を見る機会は少ないので、写真を供覧する。そして戦争後、私が毎日中国で捕虜の間中眺めて吉兆を得たとし、これを皆様におわちしたい。



冬の宵の南の地平線低く見えるカノプス



カノプスの見つけ方

写真 藤井 旭 『全天星座百科』より

ボランティア状況

(10月～12月)

(敬称略)

シート交換
酒井久、杉山初、奥平恭子
馬場静子、たんばの会
指 奥多摩奉仕会
奥多摩奉仕会
洗 原島サキ子
原島サキ子
介 清水恵美
清水恵美



入苑された利用者

(10月～12月)

12月	12月	12月	11月	11月	10月	10月	10月
福島トヨ子様	増田サダエ様	菊地く江子様	横見瀬江子様	坂本輝静様	福田行男様	松島正光様	小部山ヨシ様
奥多摩町	豊島区	豊島区	昭島市	丹波山村	国分寺市	奥多摩町	奥多摩町

行事予定

1月 1日 新年挨拶
1月 1日 カルタ大会
1月 23日 昼食会・餅つき大会
2月 3日 節分
2月 15日 涅槃会
2月 20日 昼食会
3月 19日 昼食会
3月 22日 彼岸法要



編集後記

早いもので、琴清苑だよりを発行して五回目の正月を迎えました。奥多摩にも雪の便りが届き、雪掃きが重荷に感じられる季節の到来となりました。今年、閏年と言う事で、多い冬を体をまるめながら過ごしつつ、やがて野山に梅そして桜咲く暖かい春を待ちましよう。「春よ来い」。



厨房スタッフ 左から大井さん・桑原チーフ・鈴木栄養士・小峰さん・田子内さん

利用者様に安全で美味しく喜ばれる食事提供をさせて頂きたいと思っております。スタッフ一同笑顔で頑張ります。

厨房委託業者
日清医療食品

栄養士 鈴木高子